

# 令和 7 年度 第 1 回 堺市 ICT 戦略推進本部会議 議事要旨

1 日時 令和 7 年 5 月 26 日（月） 10:00 ～ 10:40

2 場所 本館 4 階 庁議室（オンライン）

3 議題 【審議事項】

1 堺市 ICT 戦略の実績及び戦略の実行力強化

2 データ利活用

3 堺市 DX の推進

【報告事項】

オンライン化の推進

業務システムの標準化

アナログ規制の見直し

4 議事要旨

## 【事務局 審議事項・報告事項 説明】

（高橋戦略アドバイザー）

堺市は非常に前向きかつ着実に ICT 戦略を進めている。審議事項の DX 推進について、総務省が DX 推進計画を示して 5 年目である今年は、システム標準化・共通化の推進があり、アナログ規制の見直しも佳境を迎えている。DX 推進も次のフェーズとして本来の目的である新たな市民サービスの創出、市民の満足度向上を実現しないといけない。単に職員の働き方が変わったというだけではなく、今回の審議事項のとおりデータを活用した市民サービスの創出につながるよう頑張ってください。

（本屋副市長）

業務システムの標準化について今年度いよいよ移行が始まる。これまで事務処理誤りの原因が「委託事業者に全て任せている」「チェックが漏れている」ということが多かったと認識している。そのため、移行に関して留意することを今回の報告事項に記載した。遺漏の無いように本部員はしっかり認識して取り組んでもらいたい。

（ICT イノベーション推進監）

事務処理誤りを防ぐためにこれらの留意事項を含んだチェックリストを作成し、昨年度配布した。今年度も各所管課に配布する予定であるので活用いただきたい。

(佐小副市長)

本市はご存知のとおり持続可能な市政運営の実現を目的に構造改革に取り組んでいる。

資料に構造改革の一環として、関係局と連携して紙主体のルールを見直すところがあるが、構造改革は人材育成や環境整備にも関わるところがある。「ICT 戦略の実行力強化」「市民ニーズ多様化」「人口減少に伴う市職員の減少」それぞれ構造改革の課題と共通するところが多い。すなわち、これからは ICT 戦略の中で、構造改革の取組も合わせて推進していくべきであると認識している。

(ICT イノベーション推進監)

ご認識のとおり。本室においても ICT 戦略をさらに推進する。

(市長)

### **1 堺市 ICT 戦略の実績及び戦略の実行力強化～「ICT を使いこなす自治体」への変革～**

まずは、本部員それぞれが、目的を明確に意識しなくては組織に浸透しない。局のトップ自らが日頃から目的を強く認識し行動することで、局内で目的が共有され職員の働き方に大きな影響を与えることができる。逆に目的が共有されなければ、職員は負担を感じるのみで変革は実現しない。真の目的は、市民サービスの向上により市外からも人や企業を呼び込み、都市魅力を向上させることである。変革が実現しなければ、都市魅力の低下につながる。

### **2 データ利活用**

データ利活用に関しても同様に目的を意識してもらいたい。「EBPM（データに基づく政策形成）」等の言葉だけが先行すると職員は負担に感じ、利活用は進まない。例えば、各局にとってデータは「予算査定での事業検証」「議会答弁」等において説得力を持たせることに活用できる。職員自身が、メリットを感じ理解することが第一歩である。

### **3 堺市 DX の推進**

本市がデジタルを使いこなせる土台がなければ、デジタル関連サービスが数多く普及している世の中において、市民の皆さんにとって有益な新たな仕組みを取り入れることができない。各局が主体性を持って DX に取り組む意識を持ってもらいたい。

### **4 その他**

ICT イノベーション推進室は各局が気軽に相談できる体制をとってもらいたい。大阪府や国の各省庁の仕組みがまだ整っておらず、デジタル化が進まないといった意見もあると考えている。例えばマイナンバーカードを使うことで改善できることなど、ICT イノベーション推進室が中心となって意見を取りまとめ、当会議で方向性を示し、堺市から国に提案できるようにしていきたい。

(ICT イノベーション推進監)

本日の意見を踏まえ今後も引き続き取組を推進する。